

香川県高松市 さぬき宿泊体験協議会

<http://hotel-secondstage.com/>

問合せ先

窓口名：NPO しおのえセカンドステージ
住所：香川県高松市塩江町上西乙 1118-8
TEL：087-893-1100 FAX：087-893-1101
E-mail：info@npo-shionoe.jp

アクセス

最寄りの都市：大阪市
集合場所：NPO しおのえセカンドステージ
車の場合：150 分
鉄道の場合：140 分



受入概要

香川県には小学生の農山漁村における長期宿泊体験事業を実施する農山漁村交流プロジェクトへの受入地域及び、受入協議会がなかったため、塩江町を中心に子ども農山漁村交流プロジェクトの立ち上げが進められ、平成 21 年 10 月 1 日より香川県高松市塩江町・香川町・三木町の地域から成り立つ農林水産省推進事業「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受入モデル協議会「さぬき宿泊体験協議会」が設立された。

香川県の讃岐山麓の大自然にいだかれた山あいの塩江町を中心に、農林漁業体験をはじめ山菜採り体験、ホテル観賞、スポーツ体験、スポーツ体験、クラフト体験などバラエティに富んだプログラムが用意されており、山村での宿泊体験活動の実施は、学ぶ意欲・個々の自立心の向上、人に対する思いやりの心、道德意識を育み、力強い子どもの成長を支える教育活動としての効果を見込んでいる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

阿讃山麓の大自然にいだかれた山あいの県下最大の温泉郷。総面積 80.10km²のうち 84%が山林である峡谷型の町。高松の奥座敷といわれ、政財界人の隠れ宿、創作のため逗留する文化人、また湯浴客や温泉通の憩いの場として親しまれている。交通のアクセスも良く、高松市中心部から南約 24km、高松空港から車で 10 分、約 8km のところに位置する。

耕地は香東川などの河川や山間部に沿って点在し、集落は主に香東川沿いの国道 193 号沿いと内場池南側に集中しているほか、山間部にも点在している。

大滝山県民いこいの森キャンプ場施設は県下で唯一、ブナの原生林が山頂近くに残る大滝山(946m)の山麓にあり、数多く昆虫や野鳥などが生息している。場内には自然公園センターもある。また、塩江温泉知会では 1977 年(昭和 52 年)からホテルを増やす研究に取り組み、幼虫を人工飼育し、川に放している。

歴史・文化的な特色

約 1300 年前名僧行基により発見され、その後、空海(弘法大師)が修業をして湯治を万人に勧めた歴史ある名湯として、全国的に知られている。塩江街道とよばれる旧街道沿いの町並みやその路地裏などに昔ながらのひなびた風情が残っていて、古くから温泉地として栄えたことを物語っている。

戦前は華やかな歓楽街(宝塚歌劇団のような少女歌劇団もあった)も見られ、塩江温泉鉄道で高松市街(当時の仏生山町)と結ばれていた。現在は前述の通り保養、湯治向けの閑静な温泉街を形成している。

2005 年 9 月の市町合併により本市で 2 館目の美術館として新たにスタートしたしおのえ美術館では常設展示室での塩江町出身の洋画家熊野俊一氏の作品展をはじめ、企画展示室やホールでは地元作家を取り上げた企画展や貸し館による個展、グループ展などが開催されている。

農林水産業の特色

契約栽培の取組、麦・大豆品質向上対策への取組推進等による転作大豆を推進している。

麦・大豆の輪作体系の推進。そばの生産振興のため、「塩江町そば作りプロジェクト」の立ち上げ。5 年以内で 4 倍の 10ha 拡大する計画で、各種事業を組み合わせた産地づくりを進めている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	10	3	2	1
最大宿泊可能人数	50	60	60	252
料金	3000 円～	6500 円～	6300 円～	5500～

おすすめ体験学習プログラム

野菜栽培・収穫体験（所要時間 60 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

塩江の高地の特性をいかした野菜の種まき・収穫を行い、塩江に最も適した野菜（山芋など）の栽培・収穫もプログラムに取り入れている。

茶摘み・茶葉づくり体験（所要時間 300 分・農業体験）

【期間】

5月～7月まで

【内容】

しおのえ大滝山にある茶畑にて、茶蒸し～手揉み～完成までを体験。希望に応じて、茶摘み～茶蒸し～手揉み～完成～試食の一泊二日フル体験コースもあり。

石文鎮作り体験・温泉郷町並みウォーキング

（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

地元に流れる香東川でウォーキングを兼ねて石を拾い、文鎮に加工。加工された石は、魔法でもかかったかのように和の雰囲気のある芸術作品へと変わる。素材探しから作品完成までと、達成感溢れる体験となっている。

どろんこバレー体験（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

3月～4月まで

【内容】

水を張った休耕地を活用し、自然の中で土の感触を楽しんでもらう体験。楽しみながら交流を図ることができ、勝ち負けより泥遊びを思いっきり楽しむことができる体験。

木材加工場見学・森林の再生植林・木工体験

（所要時間 300 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

丸太フェンスの横木連結材作業見学し、再生可能な資源のひとつである森林の再生活動体験、そして実際、木の香りや手ざわりを楽しみながら、大工道具や素材の扱い方を体験。

ホタル生態学習・養殖場見学・ホタル観賞

（所要時間 120 分・動物・昆虫体験）

【期間】

通年（ホタル観賞は6月から7月のみ）

【内容】

ホタルの生態を理解するうちに生息可能な自然環境は、ホタルのみならず私たち人間にとっても貴重な環境資源である川を守ることに繋がります。その重要性を前提に生態学習・養殖場見学・観賞する体験です。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	さぬきふるさと生活体験学習	実施時期	12月～7月まで
ねらい	体験を通じて人の暮らしの原点を理解してもらうと同時に、農業・林業などの多面的な社会的機能を理解してもらうことで、新しい発見や今後の生活への価値観の変化を促す。また、現在の生活環境に住み慣れた児童に対し、自然あふれる塩江とまたその周辺地区が、資源を教育的に利用し総合的な学習や人々の生きる力を育む活動の場ということを認識することも目的とする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	しおのえ歴史町並み探訪	温泉郷町並みウォーキング（しおのえ温泉郷） 絵画鑑賞、歴史探訪（しおのえ美術館）
	午後	石文鎮作り体験	川で拾った石を文鎮に加工（NPOしおのえセカンドステージ）
	宿泊	ペンションとまと	新割り体験（ペンションとまと）
2日目	午前	酪農体験 1	搾乳・手搾り・ブラッシング（広野牧場）
	午後	酪農体験 2	天然酵母パン作り（広野牧場）、酪農の教育的価値などの学習（広野牧場）
	宿泊	（有）広野牧場ログハウス『ホーム・ベル』	
3日目	午前	木工体験	丸太フェンスの横木連結材作業見学（赤松製材所）、木材クラフト作業（赤松製材所）
	午後	植林体験	植林作業（赤松製材所）
	宿泊	藤澤香月農園	
4日目	午前	泥んこバレー体験	どろんこバレー体験（NPOしおのえセカンドステージ）
	午後	稲作体験	田植え作業（NPOしおのえセカンドステージ）
	宿泊	NPOしおのえセカンドステージ	民族舞踊観賞
5日目	午前	野菜栽培・野菜収穫体験	野菜栽培・野菜収穫体験（藤澤一夫農園）
	午後	野菜販売体験	J A塩江販売所にて販売体験、売上集計・検証

愛媛県今治市、上島町
しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会

国土地理院承誌 平14総撰 第149号

<http://shimanami.ciao.jp>

問合せ先

窓口名：愛媛県

住所：愛媛県今治市伯方町木浦甲 4637-3

TEL：0897-72-3343 FAX：0897-72-3343

E-mail：shimanami@cw.ciao.jp

アクセス

最寄りの都市：松山市

集合場所：今治市上浦町 多々羅しまなみ公園

車の場合：100 分

鉄道の場合：100 分



受入概要

しまなみの地域ならではの「島」と「海」を最大限に活用して、教育的効果のある体験プログラムを提供することを受入方針として取り組んでいる。児童がたくましく生きる力を育むことができるよう①児童と一緒に学び感動できる②安全で安心な体験指導ができる③学習効果を提案できるような農林漁家や体験指導者を実施し、勉強会等で資質向上を図っている。

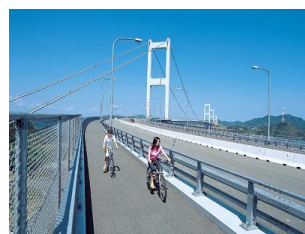
また、しまなみ地域を「交流の島」として位置づけ、「島」の体験では、レンタル自転車に乗ってしまなみ海道の多々羅大橋や大三島大橋、伯方大橋、来島海峡大橋の上を往来でき、中には橋から降りられる無人島も。「海」の体験では、筏づくりや磯遊び、漁業者が指導する地引網体験などの海辺で行う体験や、船釣りのように漁師さんの船に乗って一本釣りを体験のほか、島の間の激しい流れを船に乗って巡る潮流体験などがある。

そのほか、島の特徴的な施設としては、伯方の塩工場や大山祇神社、村上水軍博物館などがあり、島の歴史的背景や文化遺産を学ぶことができる。また、島嶼部の農業経営は柑橘が中心であり、宿泊受入農家もほとんどが柑橘農家であることから、農業体験では、柑橘の生育状況、栽培・収穫・選別など一連の作業が学習できる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

しまなみ地域は、愛媛県の北部、広島県を対岸とする瀬戸内海に浮かぶ島々で構成されており、気候は穏やかな瀬戸内海気候で、年平均気温は 15.4℃、年間降水量 1,142mm である。平成 11 年、本州と四国をつなぐ西瀬戸自動車道（通称しまなみ海道）が開通し、一躍注目されるようになった。地域内の市町は、今治市と越智郡上島町。今治市は平成 17 年 1 月、越智郡 11 か町村の広域合併で、新「今治市」となった。島嶼部の 3 島（大島、伯方島、大三島）には西瀬戸自動車道の I C がそれぞれあり、県内最北端の大三島は、広島県井口島と多々羅大橋で繋がっている。上島町は平成 16 年 10 月、越智郡弓削町・生名村・岩城村・魚島村が合併して誕生。瀬戸内海に浮かぶ 12 の島々から成り、海上で広島県尾道市に接している。



しまなみ海道を自転車で渡る

歴史・文化的な特色

約 400 年前、村上水軍の居城があった「能島」（現宮窪町）は激しい潮流に守られ、島自体が要塞となっていた。周囲は激しい潮流があり、現在は船に乗って巡ることができる。このほか大島には村上水軍資料館があり数々の水軍栄華を語る貴重な遺品が展示されている。また、高級御影石として知られる大島石の産地として有名で、石文化発信の町でもある。伯方島は、古くから製塩業が栄え、塩の島として知られており、今も伯方の塩は有名。大三島には、日本総鎮守で由緒ある大山祇神社、大三島美術館など歴史と文化の町として観光名所でもある。

農林水産業の特色

農業は、温暖な瀬戸内海気候を生かした温州みかんや伊予柑等の栽培が盛んであったが、現在では「はれひめ」「はるみ」「せとか」「たまみ」「紅まどんな」などの新品種導入が進んでいる。また、柑橘類の代替及び補完品目としてミニトマトやアスパラガス、イチゴの産地化が進んでいる。

漁業は、天然、養殖ともに盛んに行われており、来島海峡の急流で育った新鮮な魚は名物のひとつとなっている。マダイやサワラなどの小型機船底びき網、一本釣り等の漁船漁業のほか、ヒラメやカキ、ノリ、マダイや塩田跡地を利用したクルマエビなどの養殖が行われている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	4	4	14	7
最大宿泊可能人数	21	26	400	400
料金	4000 円～	4000 円～	5250 円～	2150～

おすすめ体験学習プログラム

郷土料理づくり体験（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年（石花汁のみ期間限定(10～2月)）

【内容】

島に伝わる郷土料理①タコ釜飯②イギス豆腐(「イギス」という海藻を利用した島独自の料理)③トコロ天④おもぶりご飯(「もぶる」とは「混ぜる」の意味)⑤石花汁(熱く焼けた石を入れる鍋料理)などを作り、地元の人と一緒に食べる。

地引き網体験（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

3月上旬～10月下旬まで

【内容】

砂浜に網を仕掛け、みんなで力を合わせてその網を引き上げる。引き上げる時間はおおよそ30分。その後、隣のキャンプ場へ移動して網にかかった魚を利用して昼食づくり。魚の下ごしらえを行った後、鯛めし、あら汁、刺身、バーベキューなどに調理する。

サイクリング（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

通年

【内容】

自転車に乗って島内の自然や、橋の上から瀬戸内海を満喫したり、主要施設を巡ることもできる。

岩城のレモンを使った料理や加工品づくり

（所要時間 240 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

「青いレモンの島」がキャッチフレーズの岩城島のレモンを使って料理や加工品づくりを体験する。



郷土料理の説明

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	しまなみの海を満喫！ 自然・歴史・産業を体験	実施時期	4月上旬～10月下旬まで
ねらい	しまなみ地域の特徴を生かした島や海の自然、農林漁業を体験し、主体的な判断と行動を促し、課題を解決する資質や能力を身につける。集団行動や農家民宿先の家族と過ごすことで、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を養うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動 開校式	歓迎式、しまなみ地域の概要、日程説明、情報交換など
	午後	島の自然や産業探索 サイクリング	自転車に乗って宿舎周辺の自然を散策する 大三島の施設（伯方の塩工場や大山祇神社）など見学
2日目	宿泊	今治市大三島少年自然の家	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	飯ごう炊飯	野外で昼食を自分たちで作り、全員で食事をする
	午後	筏づくり、磯遊び等海辺の体験 里を散策するオリエンテーリングなど	大三島自然の家の野外活動プログラムのうち海辺での体験 大三島自然の家の野外活動プログラムのうちオリエンテーリング
3日目	宿泊	今治市大三島少年自然の家	キャンプファイヤーも実施可能。団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	受入農家への移動と対面式	受入農家と児童との対面式、自己紹介などを行う
	午後	受入先での農業や暮らしの体験	受入農家が日頃行っている農業や生活を一緒に体験する。 農家と一緒に夕食づくり
4日目	宿泊	農林漁家民宿、農林漁家民泊	農家泊の家族と島の暮らしについて話して過ごす。
	午前	島の食文化を体験	島の郷土料理や加工品を農家女性グループと一緒に作り食事をとる。
	午後	潮流体験と島の歴史研究	村上水軍の歴史宝庫である「能島」周辺を船で巡る。 村上水軍博物館にて、しまなみ地域の歴史・文化を学習。
5日目	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
	午前	地引網体験	キャンプ場前の浜辺で漁業者の指導のもと地引網を体験。 獲った魚を材料に地元女性部とバーベキュー体験
	午後	片付けと閉校式	受入農家や体験指導者とのお別れ会

愛媛県内子町 内子わくわく体験協議会

<http://www.town.uchiko.ehime.jp>

問合せ先

窓口名：内子町

住所：愛媛県内子町内子 1515 番地内子町役場内子分庁

TEL：0893-44-2118 FAX：0893-44-3798

E-mail：t-inatsuki@town.uchiko.ehime.jp

アクセス

最寄りの都市：松山市

集合場所：内子町役場 内子分庁

車の場合：25 分

鉄道の場合：25 分



受入概要

内子町の農家民宿・農業体験宿泊施設は、町内全域に点在しており、また、体験受入農家も町内全域に広がっているため、プロジェクトの受入は町全域で行っている。内子町は、歴史的な町並み観光、農山村の景観や文化を生かした村並み観光、小田深山の自然を生かした山並み観光に、道の駅「からり」などの交流農業を加えた「内子ツーリズム」を推進している。町内各地の特色ある地域文化に触れて、五感でまるごと内子を体験できるプログラムが用意されている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

内子町は、愛媛県のほぼ中央に位置し、北は伊予市、東は久万高原町、南・西は大洲市に接している。中心部は、県都松山市から約 40 キロメートルにあたり、一級河川・肱川の支流である小田川が流れている。また、1982 年重要伝統的建造物群保存地区に選定された八日市護国の町並みは、木蠟で栄えた往時を偲ばせる伝統的な民家が保存されて、近年は年間 60 万人を超える観光客が訪れる県内有数の観光地となっている。

海拔 750m から 1560m に位置する国有林地 4,400ha の中にあり、県立自然公園四国カルスト圏内の中に伸びる小田深山渓谷は、本流 10 km に及ぶ景勝地である。安芸貞淵から五色河原、廻り岩渓谷、藤見河原と続き、遊歩道を散策しながら新緑・若葉や紅葉など四季折々の自然に親しむ事ができる。小田深山の標高 1300m 付近には、四国第一級の「ブナ林」がある。通常のブナ林に多い針葉樹が少なく、カエデ、ナラ、シデなどの落葉広葉樹が多く見られる。林相は、四季を通じて変化に富み、秋の紅葉時は必見。平成 2 年 3 月からは「林木遺伝資源保護林」に指定され、遺伝子の保護が行われている。



小田深山渓谷の散策

歴史・文化的な特色

江戸時代末期から明治時代にかけて木蠟（もくろう）生産が盛んに行われ、その時代の面影を残す旧街道沿いの八日市護国地区（延長 600m、面積 3.5 畝）を、文化財保護法の規定に基づき、1982 年に「重要伝統的建造物群保存地区」として、国の選定を受け町並保存を行っている。保存地区内には、1990 年に国の重要文化財に指定された本芳我邸、木蠟資料館上芳我邸、大村家がある。

1916 年大正天皇即位を祝い、創建された芝居小屋「内子座」は、木造 2 階建て瓦葺き入母屋造りで、ホールとして活用後、老朽化のために取り壊されるところ、1985 年に町民の熱意で劇場として復元され、多くの観光客が訪れている。

農林水産業の特色

農林業が主たる産業であり、農業はしっかりとした展望に基づいて生き生きと展開できるよう取り組んでいる。林業においても、菌床しいたけなど林産物生産の拡充に取り組んでいる。なお、藩政期には、木蠟・和紙等の生産で栄え、白壁の町並が残っている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	5	5	4
最大宿泊可能人数	37	84	52
料金	5500 円～	7000 円～	3000 円～

おすすめ体験学習プログラム

棚田で農業体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5 月下旬 ～ 5 月下旬まで（田植え）、9 月中旬 ～ 10 月下旬まで（収穫）

備考：棚田・坂本龍馬脱藩の道散策は、通年可能

【内容】

日本棚田百選に選定された「泉谷棚田」の散策、棚田で米づくり体験、坂本龍馬脱藩の道散策 など。昼食には、棚田米で作った「おにぎり」を頬張る。

凧づくり体験（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

五十崎凧博物館には研修創作室が用意されており、凧づくりができる。時間に余裕があれば、凧揚げも体験できる。

農産加工づくり体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

「あぐり亭」を運営する農家のお母さんが農産加工食品づくりを指導する。そば打ち・うどん打ち・餅つきなどができる。自分たちで作ったものをそのまま昼食で味わえる。

うちこツーリズム協会体験（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

うちこグリーンツーリズム協会会員の指導により、こんにゃくづくり・竹炭加工・ワサビ漬け・押し花・つるのカゴ編み・パンづくり・お菓子づくり・石窯料理・わら細工など多種の屋内体験を用意。



棚田での収穫体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	五感でまるごと内子を体験	実施時期	通年
ねらい	児童が、内子町の特色ある自然・農林業を体感し、挑戦するとともに、農林漁家泊等での異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわかまえ、的確に行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	内子町までの移動・はじめましての会	歓迎式典・内子町の概要・体験日程の説明
	午後	いろいろクラフト体験	凧づくり体験・和紙製造の見学・紙すき体験
	宿泊	うちこグリーンツーリズム協会宿泊施設（農家民宿・ペンション・民宿）	—
2 日目	午前	農産加工づくり体験	アグリベンチャー21 の指導により、ソバ・うどん打ち、餅つき体験
	午後	歴史・文化を学ぶ体験	内子座・伝建地区の散策、和ろうそく・和傘の製造の見学、高橋邸見学
	宿泊	うちこグリーンツーリズム協会宿泊施設（農家民宿・ペンション・民宿）	—
3 日目	午前	棚田で農業体験	泉谷地区棚田を守る会の指導による農業体験、坂本龍馬脱藩の道散策
	午後	うちこ G T 協会体験	うちこグリーンツーリズム協会会員及び会員関係者の指導による農業・農産加工体験、クラフト体験
	宿泊	うちこグリーンツーリズム協会宿泊施設	—
4 日目	午前	小田深山 自然学校	ODA の木協会の指導による自然学校の開校、小田深山溪谷散策
	午後	うちこグリーンツーリズム協会宿泊施設（農家民宿・ペンション・民宿）	—
5 日目	午前	まだまだある内子の魅力を探そう体験	観光名所散策・祭り見学・未完成体験を完成させる。
	午後	お別れ会	参加した子ども達から感想報告、アンケートの取りまとめなど。受入農家とのお別れ

愛媛県愛南町 愛南グリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.town.ainan.ehime.jp/>

問合せ先

窓口名：愛南町農業支援センター

住所：愛媛県愛南町城辺甲 2420

TEL：0895-72-7311 FAX：0895-72-6655

E-mail：sogabe-mxa@town.ainan.ehime.jp

アクセス

最寄りの都市：松山市

集合場所：愛南町役場駐車場

車の場合：180 分

鉄道の場合：180 分



受入概要

四国の西南端に位置する愛南町は、高速道路も JR も通っていない交通不便地であるものの、観光化されていない本物の自然をはじめ、地域資源が極めて豊富であり、温和で世話好きな土地柄である。

安全・安心を前提に、こうした資源を最大限に活かした学習効果の高いプログラムを提供することを方針として、関係機関等が協力して取り組むこととしており、地域内の農林漁家や体験指導者を対象に、人材育成を実施し、個々の児童に対してきめ細やかな配慮と家庭的な交流を提供している。

特に当地域は、四季を通じて海、里、山の資源が四国の中でも非常に豊富であり、児童に提供できる体験も実施時季に応じた豊富なものとなっている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

愛媛県の最南端に位置し、町の中心を流れる僧都川の中小河川沿い沖積層平坦地域に水田地帯が開け、それらを囲む丘陵地帯が果樹園となっている。年平均気温が 17 度と比較的温暖で年間降雨量も多い気象条件を活かした「柑橘＋水稻」を主とした営農類型が多い。特に柑橘は、高品質化や所得向上を目指し普及に努め、河内晩柑は全国一の生産高となっている。また、水産業も盛んな地域で、鯉の水揚げ量は西日本一を誇っているほか、太平洋に面した湾では、ブリ、鯛等の養殖が盛んに行なわれている。

歴史・文化的特色

四国遍路の 40 番札所の観自在寺や町内でミニへんろ道を作って参拝者も多い。町内を流れる僧都川では、長はしりの滝やキャンプ場もあり、夏には川遊びの人で賑わう。

御荘湾から引き上げられた旧日本軍戦闘機「紫電改」が展示され、戦争の悲惨な歴史を学ぶことのできる貴重な資料となっている。

海岸線は、足摺宇和海国定公園に指定され、美しい風景が楽しめる。



国定公園に指定されている海岸の観察

農林水産業の特色

農業については、春から夏にかけては中晩柑類、秋から冬にかけては温州みかん栽培など柑橘農家が多い。米は早期米が中心で野菜はタマネギ、白菜、きゃべつやブロッコリーなど多品目にわたって栽培されている。

水産業については鯉の一本釣り・鯛、ブリの養殖やマガキ、ひおうぎ貝、真珠の養殖がさかんである。また、鯉の加工や近海でとれる地魚を使つての干物、練り物の水産加工も行なわれている。

林業については、杉、檜の造林が多いが、雑材を使った木炭の製造も行なわれている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	15	8	31	3
最大宿泊可能人数	45	46	500	200
料金	4000 円～	4000 円～	6000 円～	2000～

おすすめ体験学習プログラム

古布・エコ袋創作体験（所要時間 180 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

使われなくなった古布や新聞紙を使って、アクセサリやバックを作る。地域で環境活動に携わるグループが指導。



田植え体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

5月上旬 ～ 6月下旬まで

【内容】

農業の基幹である稲作を学ぶために、その生産方法と田植えによる体験学習を行う。体験はあえて、手植えにすることで稲作の環境を体感するとともに、昔の生産者の苦勞の一端を学ぶ機会にする。

郷土料理づくり体験（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

愛南町に伝わる郷土料理を作るとともに味わう。コンニャクやしば餅、包丁汁など愛南の四季折々の新鮮な素材を使った郷土料理をつくり食べる。

愛南町の漁業体験（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

愛南町の漁家の協力を得て行うもので、実施時期に応じ、漁家が日常的に取り組む行為を生活体験として提供することになっている。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	四国の端っこでのんびり・ゆったりいなか体験	実施時期	5月中旬 ～ 9月下旬まで
ねらい	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、学び方や考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	—
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換 共同での夕食調理体験
	宿泊	公的宿泊施設「山出憩いの里温泉」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	農業体験（班別活動）	稲作農家が指導者として、田植え、稲刈り体験等をする。 地域の里山にあるものを活かして、工芸作品を作成する。
	午後	農家の生活体験（班別活動）	対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介をする。 各農家泊先に任せて、農林漁家の生活を体験する。
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う
3日目	午前	漁業体験（班別活動）	漁場・市場の見学と漁業者による水産業の説明 漁業に使用する道具の説明と道具作り
	午後	漁家の生活体験（班別活動）	夕食の食材の調達（天候不良の場合、屋内メニューを提供） 漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民宿	農林漁家泊の各家庭での生活を体験する。
4日目	午前	農林漁家体験	各受け入れ先での共同調理
	午後	宿泊体験活動のまとめ	班別に、農林漁家泊での学習の成果の取りまとめを行う。 受入農林漁家へのお礼の作文作成
	宿泊	公的宿泊施設「中玉交流館」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	片付けとお別れ会	児童による受入関係者に向けたお別れ会 班別による活動内容とお礼の手紙発表
	午後	学校まで移動	—

愛媛県西条市 西条市グリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.saijo-gt.net/>

問合せ先

窓口名：西条市グリーン・ツーリズム推進協議会
住所：愛媛県西条市中奥1号25-1 石鎚ふれあいの里内
TEL：090-7571-9157 FAX：0897-59-0203
E-mail：miyata@saijo-gt.net

アクセス

最寄りの都市：松山市
集合場所：石鎚ふれあいの里（西条市中奥1号25-1）
車の場合：90分
鉄道の場合：90分



受入概要

西条市における地域資源の活用と農林水産業の活性化を目的にグリーン・ツーリズムを推進するため平成19年7月に多様な関係者で構成する西条市グリーン・ツーリズム推進協議会を発足。西条市において児童の受け入れを行うことで、様々な自然環境に対応した農林水産業、生活文化を体験し、「衣」・「食」・「住」が地域の自然環境と密接に関係し、人々の知恵と技術により暮らしが成り立つことを知り、体験する機会を提供することを目指している。

地域での小学生の受け入れに当たって、滞在期間中様々な地域での体験を提供するため、さらなる体験メニューの充実を図るための勉強会（受け入れ地域でのワークショップ等）や受け入れ者に対するホスピタリティの向上を図るため、各種研修会等を開催している。



農業体験による「食」の学習

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

西条市は愛媛県東部に広がる道前平野に位置し、北は瀬戸内海の燵灘に面し、北西は今治市、西は東温市、南は久万高原町と高知県の町、東は新居浜市と接している。509.04km²という広大な市域面積は県下屈指の規模を誇り、その南部一帯及び西部は、西日本最高峰の石鎚山（海拔1982m）を主峰とする石鎚山系や高縄山系を背景にして、急峻な山岳地帯となっている。それ以外の地域は、比較的穏やかな平坦部となっており、石鎚山系を源流とする水量豊かな加茂川や中山川をはじめ、中小の河川が貫流している。石鎚山には愛媛県では数少ないブナの天然林が存在し、里山にかけてスギ・ヒノキの林が広がっている。市の中心部を加茂川、中山川が流れ、平野部は地下水に恵まれている。両河川の河口には干潮時、広大な干潟が干出する。

歴史・文化的な特色

市域の代表的な自然環境である石鎚山は、豊かな自然とともに、山岳信仰の場として全国各地から多くの人が訪れる。山間部では山菜を利用した伝統的な食文化が継承されている。平野部では秋に開催される西条まつりが有名である。

また、四国八十八カ所が5霊場（第60番札所横峰寺（よこみねじ）、第61番札所香園寺（こうおんじ）、第62番札所宝寿寺（ほうじゅじ）、第63番札所吉祥寺（きちじょうじ）、第64番札所前神寺（まえがみじ））、劈巖透水（へきがんとうすい）や国史跡に指定された永納山等、他にはない当市独自の地域資源が豊富に存在している。

農林水産業の特色

農業は、瀬戸内特有の温暖な気候と石鎚山系や高縄山系を源流とする豊富な水資源に恵まれ、米作を主体に麦作、野菜、果樹、花き、畜産などの複合経営が行われ、県下有数の農業地帯となっている。水稻、裸麦、にんじん、キャベツ、ほうれん草、きゅうり、いちご、メロン、柿、梅等が県下第1位の生産高である。

水産業は、燵灘海域の豊かな漁場を背景に漁獲量も多く、海苔養殖なども盛んに行われています。

南部及び西部地域は、豊かな森林地帯を形成しており、その面積は35,430ha、市域の約70%を占めている。民有林面積27,754haのうち、19,647haが人工林（人口林立約71%）で、その多くが戦後に植栽されたスギ・ヒノキであり、間伐等森林整備活動が積極的に行われているほか、ボランティアによる活動も盛んである。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	20	3	1
最大宿泊可能人数	100	246	60
料金	4500円～	8000円～	1740～

おすすめ体験学習プログラム

村内散策と自然体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

山間部の小道を歩きながら、廃村、林業の実態と生育する植物などの観察を行う。

柿の収穫体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

10 月上旬 ～ 11 月中旬まで

【内容】

柿の収穫体験

草木染め体験（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

石鎚ふれあいの里周辺の草木を採取し、天然の素材での染め物を体験する。

酪農家体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

酪農家での作業体験を行う（牛の乳搾り、エサやり、施設の清掃、小牛にミルクをあげる）

お茶摘み体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5 月 5 日 ～ 5 月 20 日まで

【内容】

無消毒、有機肥料で栽培しているお茶の摘み取り体験



受入時の安全対策

学校関係者向け ガイドライン作成	受入地域内関係者の ガイドライン作成	他安全対策資料用 意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	西条市農山漁村交流・体験プログラム 「農林漁家民泊中心型」	実施時期	通年
ねらい	児童が西条地域の特色ある自然・農林漁業を体感し、チャレンジするとともに、農林漁家での家庭的な異世代交流による人の“温もり”や“優しさ”を感じ、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地までの移動 開校式	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換
	午後	村内散策と自然観察 天体観測	地域の様子を把握し、山間部の小道を歩きながら、集落の植物や農産物の観察を行う。 天体望遠鏡を使つての星空観察
	宿泊	公的宿泊施設「石鎚ふれあいの里」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
2 日目	午前	民泊農家での農業・生活体験	対面式：各農林漁家民泊先と対面し、自己紹介をする。 各民泊農家先に任せて、農業・生活を体験する。
	午後	民泊農家での農業・生活体験	夕食の食材の調達、農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民泊	農林漁家泊の各家庭で夕食と団らん
3 日目	午前	民泊農家での農業・生活体験	市場や地元産直市への出荷調整のお手伝いと見学 各民泊農家先に任せて、農業・生活を体験する。
	午後	民泊農家での農業・生活体験	夕食の食材の調達、農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民泊	農林漁家民泊先の各家庭とお別れを兼ねた夕食と団らん
4 日目	午前	民泊農家とお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農林漁家へのお礼（農林漁家へのお手紙）、農林漁家とお別れ会
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	班別に農林漁家民泊での学習の成果の取りまとめを行う。 保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
	宿泊	公的宿泊施設「石鎚ふれあいの里」	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5 日目	午前	片付けとお別れ会	片付け・清掃活動 児童による受入関係者に向けたお別れ会
	午後	学校まで移動	—

高知県四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村 幡多広域観光協議会

<http://hata-koiki.com>

問合せ先

窓口名：幡多広域観光協議会
住所：高知県四万十市中村山手通 19
TEL：0880-31-0233 FAX：0880-31-0660
E-mail：syuryo@hata-koiki.com

アクセス

最寄りの都市：大阪府内
集合場所：四万十市内（中心部）
車の場合：420 分
鉄道の場合：315 分



受入概要

ホエールウォッチングやカヌーなどを目的とした体験型修学旅行が訪れ始めたのをきっかけに、平成 7 年に全国に先駆けて体験型修学旅行誘致受入を目的として協議会を設立。平成 17 年から受入窓口を一元化するシステムに変更し、平成 19 年に「第 5 回オーライ！ニッポン大賞グランプリ」を受賞。教育旅行等交流人口の拡大を図る為に必要な施策や基盤整備を推進し、以って観光の振興と地域の活性化に貢献する事を目的としている。

幡多地域は、「何にもないのに何でもある」をキャッチコピーに 10 年ほど前から環境、体験型教育旅行を広域的（幡多 6 ヶ市町村）に受入っておりこれまでに約 3 万人の子供達を受入れている。受入に関しても当協議会を総合窓口として一括したコーディネート組織として活動しており各市町村や受入団体との連携を図っている。受入れる人々はインストラクター研修や講習会にも積極的に参加し、常に訪れる子ども達の安心、安全を第一に考え、さらに如何にこの地で人間関係や生きる力を育んでいけるかを考えて取組んでいる。広域的に受入を行っているので、数多くの農山漁村や体験プログラムがあり、そのプログラムや伝える人達も「ほんもの」を伝えながら共に楽しみ、人の温かさ等を感じることでできる地域を目指している。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

都会からは距離的に離れている事から、昔ながらの豊かな自然環境が沢山残っている一方、立地条件については高知県の道路状況等で都市からは決して近いとはいえず、公共交通機関のキャパシティが少ない為、バスでの移動が中心となる。

四万十川をはじめ、黒潮が最初にぶつかる足摺岬など、太平洋に面した地域である為、温暖な気候であるとともに、海、川、山といった自然環境が多様に揃っており、体験学習には最高の土地である。



山の資源を使った体験学習

歴史・文化的特色

この高知県の昔からの大きな基幹産業は第一次産業であり、その第一次産業を支える農山漁村が数多く残っている。農山漁村が数多く点在している事から昔からの伝統や文化があり、その農山漁村の風土に根ざした暮らしも残されている。

農林水産業の特色

温暖な気候を活かして育ててきた農業については、野菜、花卉、果樹、水稻などの栽培が行なわれている。近年の特徴的な動きとして、「安全で安心な農作物の生産」、「環境保全農業」の取組みなど、まとまりのある産地作りが進められている。

林業については、県の西南部に位置し、高山は無いものの山地が大部分であり、森林は広範な区域を占め、森林率は県平均と同じ 84% となっている。特色としては、国有林の高齢級ヒノキから生産されてきたブランド材「幡多ヒノキ」の産地として発展して、過去には県内有数の木炭産地としても栄えた経緯もある。現在、その資源は成熟しつつあり、大きな蓄積に育っている。また、地域エネルギーとして木質バイオマスの利活用を目指している。

広い水域と豊富な水産資源に恵まれた水産業については、沿岸・沖合漁業や魚類養殖業が盛んであったが、生産量は減少傾向にあり、黒潮の恵を活かした藻場の回復やヒラメ、アカウニ等の種苗放流による漁獲量の維持・拡大など、つくり育てる漁業の推進に取組んでいる。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	民間宿泊施設	公設の宿泊施設
軒数	100	6	2	1
最大宿泊可能人数	460	40	85	200
料金	4500 円～	4000 円～	7350 円～	1220 円～

おすすめ体験学習プログラム

皿鉢料理作り体験（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

高知と言えば「皿鉢料理」。その皿鉢料理と言っても高知では色々な食材でもてなしします。ここでは田舎寿司や盛り込み（おかず的なもの）を作り大皿に持って食して高知の食文化に触れる。

栄喜漁村体験（所要時間 180 分・漁業体験）

【期間】

3 月 ～ 10 月まで

【内容】

漁村に古くから受け継がれている産業（漁業）を実際に漁船に乗船して体験（養殖魚の餌やり、籠漁）し、捕れた魚を地元方々に捌き方などを教わりながら食事を作る。

かつおタタキ作り体験（所要時間 150 分・食の体験）

【期間】

3 月 ～ 10 月まで

【内容】

郷土食のかつお（丸々 1 匹）のタタキを自分達の手で作り食し、新鮮な魚本来の味を堪能し、高知ならではの味を感じる。

完全天日塩作り体験（所要時間 90 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

太平洋から汲み上げた海水で作る高知県黒潮町の特産品の「完全天日塩」。この塩が出来るまでの工程を学ぶ。



皿鉢料理づくりの様子

ビーチクラフト作り体験（所要時間 180 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

太平洋に面した海岸に打ち上げられた漂流物や貝殻を採取して、自分達の思うアクセサリや、フォトフレームなどに貼り付ける。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	山・川・海まるごと生活体験	実施時期	通年
ねらい	幡多地域の自然・農林漁業を体験し、海・川・山の環境問題を考え、地元の食材を使って自ら調理することで、食の安全や大切さを学びます。農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、考えて行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	稲荷ずし作り体験	稲荷ずし作り体験（全児童参加） 地元の郷土料理をインストラクターの指導で作る。
	午後	ビーチコーミング	砂浜で漂流物集めて、海流について学ぶ。それを使ってアート作品を作る
	宿泊	公的宿泊施設「幡多青少年の家」	インストラクターによる民話や地域の話を聞く。一日のまとめをして発表会の資料を作る。団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2 日目	午前	カヌー体験	川の流れについて学ぶ。 インストラクターの指導によるカヌー体験
	午後	入村式	対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介をする。 各農林漁家泊先に任せて、農林漁家の生活・夕食作りを体験
	宿泊	農林漁家民泊	夕食後、一日の感想を語り合ったり、星空観測をする。
3 日目	午前	農林漁家の生活体験	各農林漁家泊先に任せて、里山の散策や工芸品作り、川漁などを体験、農林漁家との昼食づくり体験
	午後	草木染め体験 農林漁家の生活体験	インストラクターの指導による草木染め体験 農林漁家との夕食づくり体験
	宿泊	農林漁家民泊	農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
4 日目	午前	農林漁家とお別れ カツオたたき作り体験	農林漁家とお別れ会 インストラクターの指導によるたたき作り体験
	午後	受入地域にあるプログラムを実施 天日塩作り体験	近くの漁港に行って魚の種類や流通について学ぶ。 塩が出来るまでの工程を学び、体験する。
	宿泊	公的宿泊施設「幡多青少年の家」	班別に発表資料をまとめ、お別れ式を全員で考える。
5 日目	午前	発表・お別れ会	これまでのまとめの発表、児童による受入関係者に向けたお別れの会
	午後	移動（帰路）	—